

# 謹賀新年

## 2018



吉野町議会議長  
中西 利彦



吉野町長  
北岡 篤

新年明けましておめでとうございます。2018年、平成30年の新春を健やかにお迎えられました事を心からお慶び申し上げます。年頭にあたり、町議会を代表して謹んで新春のご挨拶を申し上げます。また、日頃より、町政の発展と議会運営に対して多くのご支援とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

私自身、議長として新しい年を迎え、その責任の重さを改めて感じるとともに、吉野町のさらなる発展のために引き続き努力してまいりたいと決意を新たにしております。

さて、町行政の昨年を振り返りますと、第4次吉野町総合計画・後期計画を着実に推進するとともに、吉野町まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げた基本目標を実行するため、定住促進住宅整備、国栖小学校跡地整備、高校生へ通学費の補助、高齢者外出支援のためのタクシー料金補助、ゴミ収集事業を直営化しての戸別収集と高齢者の見守等をはじめ数多くの事業に取組み、町民の皆様の住みよいまちに向け着実に近づけることができた年であったのではと思っております。

しかしながら、昨年10月の台風21号、22号で吉野町は大小合わせて200か所以上の被害がありました。幸いにもけが人や命には大事は無かったものの甚大な被害を受けられた方々に改めてお見舞いを申し上げる所でございます。議会と致しましても町当局や県ともしっかりとスクラムを組んで一日も早い復興を目指していく所存でございます。

議会は二元代表制の一翼を担い、行政と立場は異なりますが、究極の願いは、町民の生命と財産を守る安心・安全なまちづくりであります。地域住民が住みよいまち、住み続けたいと思えるまちづくりに努めるため、様々な課題に対して、議員一団となって町当局と切磋琢磨し、時には牽制と協調を以て町政の前進の為に邁進する議会を目指してまいります。

結びに、新しい年が町民の皆さま一人一人にとりまして、実り多い素晴らしい一年となりますよう、心からお祈り申し上げます。新春のご挨拶といたします。

新年あけましておめでとうございます。皆様には健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、大変残念なことに、台風21号による災害が発生しました。被災された皆様にお見舞い申し上げますとともに、一刻も早い復旧と安全で安心できる環境づくりに全力を尽くします。しばらくご不便をおかけしますがご了承ください。

さて、昨年4月から上水道と簡易水道を統合し水道料金の値下げを致しました。また、「美吉野環境ステーション」を開設し、先ず直営でのごみの収集を始めました。少しずつではありますが、生活環境の改善ができました。

今年は、皆さんと共に具体的な町のビジョンを描いていきます。今までは町行政の基盤を整え、「みんなでつくる吉野町」の動きを作ってきました。これからは5年先、10年先の具体的な姿を、皆さんと共に描き、計画を立て、実行していきます。

教育では、園小中一貫教育の具体的な姿を描いていきます。ふるさとを誇りに思い、守り、次の世代に繋いでいく、そんな子供たちを育てていく具体的な方策を立てていきます。

生活環境では、コンパクトシティ化、交通アクセスや町民サービスの向上など、より安心で、楽しく暮らせる生活環境を具体的に描いていきます。

そして産業観光の振興です。2021年の関西ワールドマスタースターズ、カヌー・レーシング大会の開催に向けて、津風呂湖をカヌーの聖地にし、併せてインバウンドの体制を整えていきます。吉野山については奈良県との包括協定に基づいて基本計画を作り進めていきます。「木の町」については世界に向けた発信をしていきます。

皆さんとともに具体的な夢を描き、それに邁進していく、そのスタートの年にしたいと思います。ご協力をお願いするとともに、本年が皆様にとって素晴らしい一年となりますよう祈念して、新年の挨拶といたします。

## 吉野中学校 野球部 全国大会に出場決定！

### 野球部合同チーム ALL YOSHINO

吉野中学校、大淀中学校、下市中学校の野球部がこの夏に結成した合同チーム「ALL YOSHINO(オールヨシノ)」が、みごと全国大会の切符を手に入れました。

11月25日、26日の両日、奈良県代表として「近畿少年秋季軟式野球大会」に出場した同チームは、1日目の試合で、滋賀県代表との戦いを制し、3月23日から静岡県で開催される「文部科学大臣杯第9回全日本少年春季軟式野球大会」への出場が決定しました。

滋賀県代表との試合は、合同チームALL YOSHINOが3点を先制しながらも追いつかれ、特別延長戦(ノーアウト満塁から攻撃するタイブレーク)となりました。延長戦でALL YOSHINOは5点を取り、滋賀県代表を3点で抑え、8対6で勝利しました。2日目の和歌山県代表との試合では破れましたが、全国大会への出場権を獲得することができました。



「合同チームがまだ成し遂げたことのないことを成し遂げよう」を合言葉に、3つの中学校が一体となって臨んだ大会で、一層ALL YOSHINOのメンバー18人の絆が強く結ばれました。吉中からは1・2年生合わせて8人が所属するALL YOSHINO。3月の全国大会に向け、グラウンドでは部員たちの声が響いています。

### 野球部が町長と町議会を表敬訪問

12月8日には、吉中野球部員8名が全国大会の出場決定報告に、北岡町長と町議会を表敬訪問しました。報告を受けた町長は、「普段別々の学校で学んでいる生徒が結成した合同チームで勝利するということはすごいこと。今後もチームワークを大切に頑張ってもらいたい。」と部員を讃えました。また、議会を代表して中西議長は、「吉野町でも台風による災害などの暗いニュースが続いたが、野球部の活躍を聞き、感動しました。吉野から野球のスター選手が出ることを期待します。」と激励しました。



上段左から、森本教育長、中西議長、北岡町長、吉野中学校堀之内校長、山本顧問、小泉顧問  
下段左から、藤裏開、丸谷陸人、森田幸喜、戸毛珠美、藤内清敬、丸山雄平、高橋龍樹、戸毛蓮太郎(敬称略)



夏休みから目標にしていた全国大会出場を達成できて、本当によかったです。しかし、近畿大会ですごくレベルの高いピッチャーやバッターを見て、まだまだ今の自分たちでは全国大会で通用しないなと思いました。全国大会は3月です。それまでの期間、全員が心身ともに鍛えて、パワーアップしようと思います。またたくさんの方々が僕たちのために応援してくださっているので、感謝の気持ちを忘れずに全力でプレーしたいと思います。精一杯頑張ります！

吉中野球部 藤裏 開主将(2年)